



みなと

みなと 34 号 2011 年 6 月 1 日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel)078-241-9889 (fax)078-241-6990

代表者 政 芙美子

編集者 松本 裕子

平成 23 年度声の図書赤十字奉仕団総会



平成 23 年度総会は、4 月 17 日(日) 10 時より 7 階大会議室で開催されました。

団員総数 149 名、出席者 57 名、委任状提出 78 名 (総会当日 10:00 受付報告数)

支部より、竹中事業部長、角谷課長、岡嶋係長、大宅主事のご出席をいただきました。

司会は小川 文子さん(そよかぜ)、議長に尾崎 敏江さん(青年)を指名、22 年度、23 年度の各報告は全員異議なしで無事終了しました。

任期満了の役員、委員長 淡路 忠義さん、副委員長 鈴木 光代さん、会計監査 柚本 加代子さんの 3 名は退任され、今年度新役員に、委員長 政 芙美子さん(あけぼの)、副委員長 松村 陽子さん(ともしび)、会計監査 信濃 静子さん(ことばの花束)の 3 名が承認されました。

任期を終えられた、淡路忠義さん、鈴木光代さん、柚本加代子さん、2 年間の活動ありがとうございました。新旧役員の挨拶に続き、支部の角谷課長、岡嶋係長、大宅主事各氏による新任のご挨拶を頂きました。

23 年度本部役員

委員長	政 芙美子 (あけぼの)	新任
副委員長	志智 公子 (青年)	留任
副委員長	松村 陽子 (ともしび)	新任
書記	松本 裕子 (神戸 YWCA)	留任
会計	池内 早苗 (こすもす)	留任
会計監査	信濃 静子 (ことばの花束)	新任

よろしく願い致します

総会の後、懇親会が行われ 6 テーブルにそれぞれ分かれて座り、支部から竹中事業部長、角谷課長、岡嶋係長、大宅主事も各テーブルに入っていただき昼食をともにしました。

各テーブルで課題を出して話し合い結果報告、岡嶋係長からは、東日本大震災の現地に行ってきたの生の声も聞くことが出来たり、竹中事業部長からは、義援金と支援金のそれぞれについてのご説明もいただいたりとても有意義でした。私達団員も声の図書ボランティアとして何か支援が出来ないか、団員の真摯な気持ちも伝わってきました。テーブルからデイジーへの移行についても話し合われました。

支部の皆様、新役員の皆様、どうぞ今年度もよろしくお願い致します。

前本部役員の皆様のひとこと



実り多き 2 年に感謝

2 年間という月日を今回ほど長く感じたことはなかったように思います。何しろ“長”と名の付く役員とか委員などは今まで無縁で過ごしてきたからです。ましてや声奉の活動に関しては全く未熟者で自分に何が出来るか、どう対処すればよいか、手探り状態でのおぼつかないスタートでした。幸いにも支部の皆様、声奉の役員、団員の方々のご支援・ご協力をいただき不十分ながら職責を終える事が出来たかなと思います。

声奉の活動も点字班をはじめ単行図書検討会・デイジー班・音訳を見直す会等、団員の皆様の研究熱心で弛まぬ努力はただただ感服いたします。

又テープから CD 化への変革の時を迎え、ますます複雑かつ多忙になってまいります。それぞれの分野の担当での担当の方々及び団員の皆様の力を合わせ、さらなる発展を目指しましょう。私にとってこの 2 年間はあらゆる面で大変良い経験をさせていただきました。

至らぬ点は多々あったと思いますが、皆様の寛容なご配慮に感謝、本当にありがとうございました。

あかりの会 淡路 忠義

あっという間の 2 年間でしたが、副委員長という大役を仰せつかり、苦労しながら何とか大過なく終えられたかなと安堵しています。

前任者のこすもすグループの本村さんが、道筋をつけて下さっていたので、その上を踏襲すれば良いのが何よりの心丈夫でした。私も、次の役員の方がスムーズに運営できるようにと心がけました。

役員になって、支部の運営や活動内容を知る機会が増え、声奉の立場も理解できるようになりました。

さまざまな問題が起きても、役員で話し合い淡路委員長が盾になって進めて下さったのも幸いでした。

2 年交代の役員はという懸念もありましたが、実際にやってみて多くの方が経験される事が声奉の発展に繋がると感じました。役員が交代するたびに、一歩ずつ前進です。

貴重な体験をさせて頂き、役目を終える事ができました。団員の皆様の協力に感謝します。

そよかぜ 鈴木 光代

2 年間の会計監査のお役を終えることになりました。出会いと体験を重ねたいと思って過ごしてきましたがこの目的は大いに達成させて頂いたと関係者の皆様に感謝いたします。

平成 22 年度の年次総会で 50 周年記念事業準備費も含めて会計が一本化されたことは明確で良かったと思います。

様々な課題を自分たちのものとして考える気風が育ちつつある昨今です。課題山積ですが今期役員の皆さまよろしく願いいたします

はあもに 柚本 加代子

新本部役員のひとこと

委員長 政 芙美子(あけぼの)

今、おもうこと。
救援活動に参加された方のお話を是非、お聞きしたいです。
出来る事なら、声の図書、赤十字奉仕団として、知人、友人の参加によって、
赤十字を知っていただく機会になるのでは。
お楽しみに。

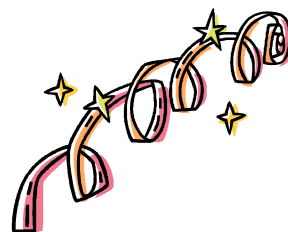
副委員長 松村 陽子(ともしび)

団員として活動を始めて7年目の未熟者ですが、副委員長をつとめさせて
いただくことになりました。
グループとしての活動だけではなく、団全体また日赤のボランティアとしての
のありかたなどを、考える機会を頂いたと考え、意義ある2年間にしたいと
思っております。
よろしくお願い致します。

会計監査 信濃 静子(ことばの花束)

日赤で皆と一緒にテープ制作・単行本貸出作業・点字 等々初めて経験する事
ばかりでした。
何も出来ないままあっという間に年月が過ぎて行きました。
この度、会計監査のお役を務めさせていただく事になりました。
何も解りませんが、がんばりますので、よろしくご指導くださいますようお願い
致します

支部事業部奉仕課職員自己紹介



角谷奉仕課長

声の図書奉仕団の皆様、こんにちは！この4月から姫路赤十字病院から支部に異動となり着任しました角谷早人（カタニハト）と申します。これまで、血液センターで19年、支部の救護部門で2年、本社研修課で3年、姫路赤十字病院で5年と各施設を転々致しました。まだまだ知らないことも多くあり、皆様の経験などもご教授いただければと思っています。これから色々な事でお世話になりますが、ご指導、ご鞭撻方よろしくお願い申し上げます。

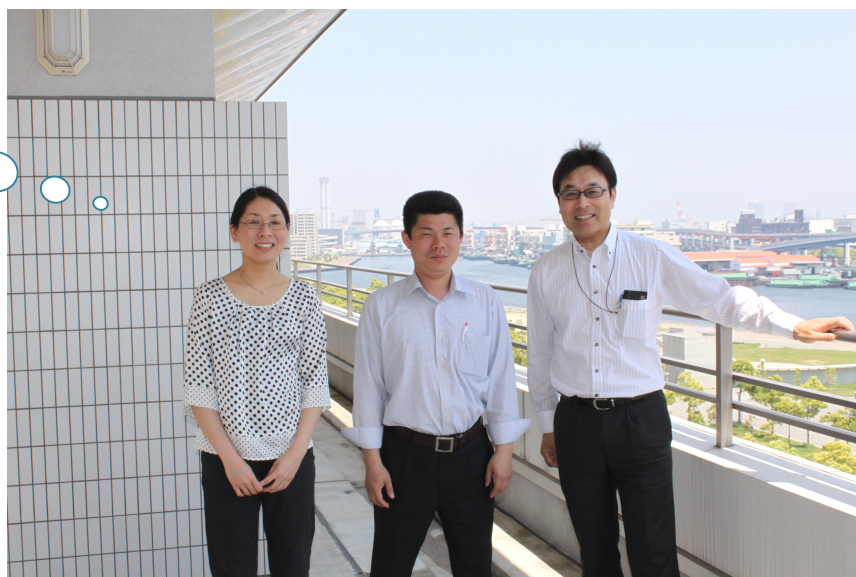
岡嶋奉仕課ボランティア係長

はじめまして。このたび4月から奉仕課に配属されました岡嶋真史（おかじままさし）と申します。これまで、血液センターに11年、支部企画施設課に2年と経験させていただきました。しかし、まだまだ至らない点が多々あり皆様にご迷惑をお掛けすることもあることと存じますが、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いします。

大宅奉仕課主事

はじめまして。大宅佑果（おおやゆか）と申します。これまでの配属先は神戸赤十字病院人事課（3年間）、支部の振興課（2年間）で、この度奉仕課へ配属となりました。関西に来て約10年になりますが、出身は佐賀県です。いまだに佐賀なまりがとれず、関西弁が下手なのですが、皆様のお話をたくさん伺えたらと思っています。ご指導よろしくお願いします。

角谷課長
岡嶋係長
大宅主事





デイジー班の活動は、スタートして4年目を迎えます。

リスナーさんのご利用は、2008年6月の27名から2011年4月現在で125名の登録となりました。

月刊「日赤声のアルバム」125部と単行図書CD71作品を聴いていただいています。

今年度のデイジー班の目標としましては、①全団員がデジタル録音出来るよう学習を積み重ねる、②月刊・季刊全8図書&単行図書のマザーをテープからCDへ切り替える準備を整えることの二つをあげました。

① については

先ず5月～6月にかけてデイジー班メンバーによる、小ブースでの研修を行い、以降順次各グループで全団員に研修を進めて行き、今年中には朗読をする全員がデジタル録音できるようになる予定です。

② については

上記と同時並行でデイジー班では、パソコン内で混乱しないよう、各図書や各グループの編集法&格納法を考えて行かなければなりません。音楽とのミキシング法も今後の課題です。また、マザーCDからテープ版への変換制作法も考えます。

以上、簡単に書きあげてみましたが、なかなか困難な作業となりそうです。
しかし、日赤声の図書の大変革期到来と捉えて、前向きに少しずつ進めてゆきたいと思っています。
団員の皆様には、これまで以上のご協力を仰ぎたく、何卒よろしくお願いします。

メモ

デイジー (DAISY) 図書とは

Digital Accessible Information System の頭文字からの名称で、デジタル録音図書の国際基準規格です。

「アクセシブルな情報システム」と訳されています。

利用者は、見出しやページで呼び出したり読み飛ばしたり、まるで活字本を繰るように、音声で、つまり耳で「読む」ことができます。

マザー図書をテープからCDへ転換する理由 (メリット)

- ・“アナログからデジタルへ” という社会のすう勢
- ・リスナーの半数以上が既にCDを聴取しており、今後も増加予想
- ・品質の良いテープの入手が困難になってきている。
- ・数量が少なくて済む (約 1/6～1/8)
- ・価格的に単価、総額ともテープよりずっと安価

現行の方法（テープ→CD）では、ヒスノイズ（テープ走行音等）が目立つが、（CD→テープ）ではヒスノイズは無く音がクリア

- ・音量を大きくしても、ヒスノイズ（走行音等雑音）が無い。
- ・コピー（ダビング）を繰り返しても、盤面 4 寸かない限り音の劣化が無い

（デメリット）

- ・音がテープよりまろやかではない
- ・機材によってはハムノイズ（PC 自体の音等）が生じることもある
- ・新しい機材・備品を揃えるのに費用を要する。
- ・新しい操作法の習得に困難を感じる（各自朗読録音、音楽とのミキシング、編集法 etc.）
- ・新たにマザー図書（CD&テープ版）制作法を確立しなければならない

’11.5.12. 直田花子

t



点字班

「点字班とわたし」

ともしびで長年テープ作りをしていながら、つい最近まで、ラベルを打つにも点字表を見ながらポツ、ポツ、ポツでした。点字班に参加してもう6, 7年になるのに未だに時々、チとソ、スとネなど「あれっ！どっちだっけ？！」という有様。でも、小学校に講習に行くと、点字表を見ながら一生懸命点字を打っている子供たち、その子供たちの理解力の速さに驚きます。子供たちが、今、点字の「基礎の基」を知ること、これからどこかで点字に出会ったとき、今までとは違う親しみを持ってくれるかも、ひいては目の不自由な人とも自然に関わっていくかも、と思いちょっと嬉しくなります。「基礎の基」は意外に簡単です。一度点字班を覗きにいらしてみませんか？ 第3火曜日 10:00～15:00 です。

ともしび

永井 万里子

単行図書検討会

平成23年度 単行図書貸し出しランク表

2010.4.1～2011.3.31 於

	書 名	著者名	貸し出し開始日	貸し出し回数
1	日暮れ竹河岸	藤沢 周平	2010.01	16
2	見知らぬ妻へ	浅田 次郎	2009.12	15
3	ゲゲゲの女房	武良 布枝	2010.09	14
3	1Q84 BOOK1	村上 春樹	2010.01	14
4	1Q84 BOOK2	村上 春樹	2010.01	11
5	漱石の長襦袢	半藤 末利子	2010.04	10
6	阿弥陀堂だより	南木 佳士	2009.08	9
7	1Q84 BOOK3	村上 春樹	2010.01	8
7	風の又三郎	宮澤 賢治	2010.06	8
7	くじけないで	柴田 トヨ	2010.09	8
8	居眠り磐音江戸双紙 陽炎の辻	佐伯 泰英	2010.06	7
8	告白	湊 かなえ	2009.08	7
9	決断力	羽生 善治	2006.09	6
9	利休にたずねよ	山本 兼一	2009.06	6
9	ちっちゃなかみさん	平岩 弓枝	2009.08	6
9	半島へふたたび	蓮池 薫	2010.05	6
10	綾子 光世 響き合う言葉	三浦 綾子、三浦 光世	2010.02	5
10	カシオペアの丘で(上)	重松 清	2009.06	5
10	銀の道一条 (上下)	玉岡 かおる	2009.02	5
10	終の住処	磯崎 憲一郎	2010.01	5

昨年に続き、年間貸し出し状況をお知らせいたします。
 テープ、デージーともに貸し出し冊数が増えています。今年度もリスナーのご希望に
 楽しんで聞いていただけるよう、録音図書の制作をよろしくお願いいたします。

単行図書検討会 中原 昌代



“朗読勉強会” へのお誘い

日赤声奉の朗読・音訳を見直す会

かねてよりお知らせしておりました日赤声奉の朗読・音訳を見直す会主催の“朗読勉強会”を下記の要領で行います。初回ということで基礎から始めますが、ベテランの方も基本を再確認する意味で奮ってご参加下さい。

記

① 日時・場所

6月1日(水)	10時～12時	5階会議室
7月6日(水)	10時～12時	7階会議室
9月7日(水)	10時～12時	7階会議室

② 講師

阿部 陽子 (はあもにい G)

③ 内容

基礎の基礎から朗読練習まで。3回連続した内容の講義ですので、続けて出席されることをお勧めします。

「日赤声奉の朗読・音訳を見直す会」では6ヶ月間 PHP の二次校正を行ってきました。毎号録音担当の方にアクセントの間違いや、助詞が上がっている等、細かい指摘がお手許に届いたことと思いますが、「日赤声奉の朗読・音訳を見直す会」のメンバー各自、自分のことは棚に上げ録音者の更なるレベルアップと声奉の質の向上を願ってのことと、どうぞご理解下さい。

以前のように一次校正だけの時と違って、第三者が二次校正を行うことを意識されたせいか、録音状態も読み方も大変良好になったと思います。

この半年校正をしながら感じたことは、読み手があまりに緊張したり、疲れていると、聞き手はそのことが気になって読んでいる内容が伝わって来ないということでした。腹式呼吸を身につけ、明瞭で聞き易い朗読・音訳を心がけたいものです。また朗読・音訳は解ってくるに従って奥が深いものであることを知り、これで良いという限界がありません。日ごろからいろんな文章に接し、「文意を正確に伝える」ことを念頭において、リスナーの方たちによりよいテープや CD をお届けしたいと願っています。

(ともしび) 田辺依子



花時計・リスナーお便り

鈴木 美智子さん

連日の東日本大震災のニュースには心を痛めています。

中国に増え、日本の尺八やお祭りの時の、ピーヒャララの音色にも似ていて、楽しく聴かせていただきました。

孫たちが、今年は高校と中学に入学し、一段と感謝を感じる春になりました。

日常当たり前の事が幸せなのだと痛感する毎日です。皆様のご健康を祈ります。

松本 民雄さん

いつも楽しい情報を聞かせていただきまして、どうもありがとうございます。

最近、珍しい売り声をきかなくなりましたね。私の小さい頃には、珍しい売り声を色々聞きましたよ。夏には、アイスクャンデー瓜とか、金魚売りとか、生姜売りなどの声も聞きました。

私の印象に残っているのは、りんご売りでした。父は段ボール箱にいっぱいりんごを買ってくれました。今回のテープにいくつかの珍しい売り声を収録しておきました

花時計 5月号 「ことばの花束」

A 面

- ① 小さな旅 水郷めぐり 近江八幡
- ② 音楽コーナー 吉俣 良さんの音楽

B 面

- ③ 桂 ざこば著 「ざっこばらん」より
弟子ってええもんや
- ④ レオパスカーリア著 「葉っぱのフレディ」
- ⑤ お知らせ

花時計 23年度担当グループ

7月	神戸YWCA
8月	こすもす
9月	あかりの会
10月	ともしび
11月	ことばの花束
12月	はあもにい

花時計 6月号 「はあもにい」

- ① 「ワクワクドキドキ どんな人に会えるかな」
上智大学 グリーフケア研究所所長 高木慶子さん
- ② 舞子高校 環境防災科ルポ
- ③ ぶらり歩いてみました 青谷 妙高院
- ④ 詩の朗読 金子みすず 2編
- ⑤ 単行図書の紹介
- ⑥ お便り

